

西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会 会報

Bulletin de L'Association Les Amis de Lot-Et-Garonne a Nishinomya

2007年5月号(Vol.47) 発行日/07年5月8日 会長/上田 善弘 編集/広報部

山の木々も若芽をふき、すっかり春らしくなりました。楽しいゴールデンウィークをお過ごしになられたことと存じます。今回は、4月21日に開催された、友好都市提携15周年記念イベントのもようを中心に、お届けいたします。

～友好の十五周年メルシボクー市民の会の手作りの宴

上田会長のお歌



大盛況！15周年記念イベント

さらなる友情と会の発展を祈念して

はじめに、今回のイベントを中心になって、企画・運営して下さった佐藤さんにお聞きしました。

まず、今回の15周年記念イベント開催に当たりご協力くださった皆様に心から感謝申しあげます。

1月に、なりゆきで実行委員長をお引き受けし、企画を考えはじめましたが、現在会員数が80名を越えるとはいえ、実際に定例会などを通して会の運営を支えて下さっているメンバーは非常に限られています。この機会に、より多くの会員さんの様々な才能や技術、ご経験などを提供していただき、活躍していただきたい…LEG紹介がテーマとはいえ、日ごろ御無沙汰気味の会員の方々にもたくさんいらしていただいて、お互いを知り合い、会の結束を高めるきっかけにもしたい…そんな思いをこめての企画でした。

いやはや、当会には本当にさまざまな才能をお持ちの方々がいっぱいいます。絵や音楽、デザインやイラスト、お菓子作りに、レシピカード作り、また、ステキな笑顔での受付やお茶のサービス、DVDや写真の編集・上映、当日のカメラマンや舞台転換のお手伝い、飾り付け、舞台上での楽しいお話…、また、会計や助成金申請事務…そして、ご家族やご友人などたくさん動員して観客として駆けつけてくださった方々…本当に市民の会はステキな方たちの集まりです。

市からの予算が全くない中、パンフレットへの広告協賛に快く応じてくださった兵庫栄養調理製菓専門学校さんと、ロッテガロンヌ商会さん、たつぷりと出張演奏をしてくださった兵庫芸術文化センター管弦楽団の方々、当てにしていた兵庫県国際交流協会の助成金が下りないと分かった時、パニックしそうになりましたが、西宮市国際交流協会に急遽特別助成金を交付していただいたり。

そして忘れてはならない、ギョームさん、この日に合わせてむりやり日本出張を作ってくれました。プレゼントと心打つ手紙を寄せてくれたマリーさん、ウルウルきました…変わらぬ友情、万歳！

当日は、会員約40名、その他の入場者約110名、計約150名という大盛況で、補助椅子を出してなお、立ち見の方もいました。休憩時間にはお茶とケーキをお求めの方々の長い列ができました。

美しく仕上がったパンフレットのおかげで入会希望者も増えることでしょう。本当に順風をいっぱいを受けてグングンとことが進んでいたような気がします。お一人一人のお名前はあげませんが、ご協力くださった全ての方々、本当にありがとうございました。

これからも、みんなが生き生きと活躍できる会でありたいと思います。そのためにどうぞ皆様のアイデアや事業企画をお寄せください。HPの掲示板などもドンドンご活用ください。定例会にもいらしてください。お待ちしております。

佐藤 祥子





オープニングは、兵庫芸術文化センターオーケストラによる優雅な幕開け



バイオリン、ヴィオラ、チェロの奏でる美しい音楽でスタートしました。市民の会にふさわしい、エレガントな幕開けです。

その後、主催者のご挨拶として上田会長より、続けて、来賓のご挨拶としてギョーム会長より、それぞれお言葉をいただきました。

←ドビュッシー、フォーレなどの名曲に酔いしれて…

ロット・エ・ガロンヌ紹介 DVD の放映

会員で、広報部長でもいらっしゃる池田吉和さんが制作・編集してくださった DVD を放映しました。ナレーションは奥様の池田峯代さん。お人柄と同じくお優しい語り口に引き込まれます。「3年前にベランジェールが来日した年、船坂子供会のクリスマス会に彼女が参加してくれたことがありました。今回ご覧いただいた DVD は、その時に船坂の子供たちのために主人が編集し、私がナレーションを入れたものです。映像は10周年旅行の時に撮影したものです。今回たくさんの人達に観ていただけて、とても嬉しく思っています。今後も LEG 紹介のために活用していただける機会があれば幸いです」。

ミニシンポジウム「LeG の魅力を語る」

会員8名による、ロット・エ・ガロンヌを訪れたときの経験談と、その魅力を語っていただきました。



皆さんの共通点は、「もう一度訪れたい！」



お茶とプラムケーキで休憩タイム



会員の川元和江さんによる、LEG のプラムを使ったケーキ、Kazue's "cake aux pruneaux d'Agen et au thé" は、大人気で、長い列ができました。レシピつきでしたので、お家でお作りになった方もいらっしゃるのでは？お菓子の販売にご協力くださった、看板奥様方の笑顔も素敵でした。材料のプラムは、ロッテガロンヌ商会さんの協賛で、特別価格での販売も開催。

← ケーキは大好評で、即完売でした。



今までの西宮の皆さんのあたたかい友情に心から感謝しています。これまでの15年も素晴らしかったけれど、これからの10年、20年、30年…さらに素晴らしくなることを確信しています。＜歓迎会でのギョーム会長によるスピーチより抜粋＞

この日のために駆けつけてくださった、ギョーム会長とこの日限りのユニット、ミッキー&マッキーのお二人、そして、企画・運営・通訳・司会…と大活躍の佐藤さん



<第2部>



第2部は、この日のために結成された、スペシャルユニット、ミッキー&マッキー（榎尾浩一さん(サクソフォーン)、須鎗幹子さん(ピアノ)）による演奏でイベント後半は大盛り上がり！



最後は、みんなで『おおシャンゼリゼ』ならぬ、『おおロット・エ・ガロンヌ』を大合唱し、感動のうちに幕となりました

ご家族でご参加くださった榎尾家のお父様、マッキーこと、ご主人様の榎尾浩一さん、いかがでしたか？「フランス好きは、料理好きで絵も好きで、音楽も好きですね（笑）。運営スタッフの皆様ご苦労様でした。大成功！」。奥様の裕美子さん。「とても楽しかったです！次男は緊張しまくりで、花束を渡したらすぐに舞台からスタコラサッサと下りて来るし、シナリオにない佐藤さんの質問に、フリーズしたり…(^_^;) 個人的に忙しく、あまりお手伝いできず、申し訳なく思ってます」。いえいえ十分です！そして、デュエットを披露してくださった、須鎗幹子さんは、「榎尾さんとのデュエットで参加させて頂きとても楽しかったです。（足を引っ張

ってしまったのでは・・・！？）生楽器の演奏を聴く機会も少ないですし、華やかでした☆プルーンのお菓子も大変おいしくいただきました。素敵な一日を過ごさせて頂きました。なんととっても祥子さんに Bravo!!!! です。」





絵画・写真展は、17日（火）～22日（土）に開催されました



絵画部の皆さんによる、絵画・写真展は、15周年記念イベントに先駆けて、17日から開催されました。いずれもLEGにちなんだ作品で、力作ばかり。ここでも、芸術の香り高い、優雅な空気が流れます。

制作だけでなく、搬入・搬出・受付等、ご協力くださった、絵画部の皆様、ありがとうございました。



←絵画・写真展には、素晴らしい作品がずらり。
来場者からは、毎回、感嘆の声があがります

今回、新しいLEG紹介パンフレットを作成してくださった、大藤清美さんにお話を伺いました。当日は、夜勤明けにもかかわらず、お仕事の合間をぬって駆けつけ、お手伝いいただきました。

「ほんの1時間足らずで、ほとんど何も見られなかった状態で、時間さえ許せばもっと楽しめたかったです（涙）。忙しく動き回る佐藤さんや、おいしそうなお菓子を、会員の皆様が一生懸命働いてらっしゃる様子を見てこのイベントは成功したのだと確信しました。パンフについては時間をやりくりして納期にこぎつけました。途中印刷を急遽街の印刷所に変更するという事もありましたが、結果としていいものが出来たと思います。パンフ制作については皆様のご理解のもと、主に佐藤さん、池田さんとの連携のおかげだと思います」。



そして、最後に、いつもご多忙のなかフットワークも軽やかに会を引っ張ってくださっている、森田正樹さんにも、逃げようとされるところ、無理やり一言いただきました！

！ 祝15周年 ！

寄稿：森田 正樹さん

西宮市が姉妹・友好都市との周年行事は10年単位で実施することにしたと聞き、それじゃ15周年はわしら「交流市民の会」(NLEG)がやっちゃうきに、やるからには手作りで最高のものをやり、NLEGの力を見せつけてやろうじゃないか(誰に?)、となりました。そのとおり参加者大満足のイベントとなり(本番見てません、すみません)、スケッチ展も例年以上の盛り上がりを見せ、何よりも、行政がつくる物とはひと味もふた味も違うパンフレットが出来上がりました。

また、当日は2階のイベントコーナーで兵庫栄養調理製菓専門学校とロッテガロンヌ商会に、LEGでの研修紹介やドライフルーツの販売を通して、広報と5階のイベントの呼び込みをして頂きました。

ところで、NLEGも設立8周年をむかえます、つまり交流の歴史の後半分はNLEGの歴史でもあるのです。西宮市とロット・エ・ガロンヌ県及びアジャン市が友好都市提携を行いました、それに肉付けし、交流の絆を太いものにしていくのは、NLEGとカウンターパートナーである「西宮の友の会」との交流、さらに言えば「人と人の繋がり」です。

この間、スケッチ旅行や研修生の派遣、訪日団や留学生の受入、ドライフルーツの輸入など目に見える成果も上げてきましたが、何より大きな成果は「海を越える友情」です。

さあ、5年後の20周年に向けて、仏大統領が知日派でなくなろうとも、交流の歩みを続けよう。歓迎会の席では、上田会長から佐藤さんに、感謝状が送られました！佐藤さん、ありがとうございます！

感謝状 佐藤祥子様



あなたは永年にわたり友好都市ロット・エ・ガロンヌ県およびアジャン市との交流推進に、また交流市民の会の活動に公私にわたって献身的に貢献されました。その功績はまことに顕著であります。よってここに友好都市提携15周年を機に深く感謝の意を表します。

2007年4月21日 西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

会長 上田善弘

「年会費」納入のお願い

4月から新年度（19年度）に入りましたので年会費を下記銀行口座へお振込み頂きたくお願い致します。

年会費：個人会員 2千円、団体会員 1万円
(振込み手数料を各自でご負担頂きたくお願い致します)

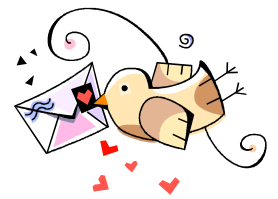
三井住友銀行 西宮支店 普通 7906172
口座名義：西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会

総会のお知らせ

平成 19 年度総会の日程が 6 月 24 日(日)に決定いたしました。時間、場所等詳細については、次号でお知らせいたします。新年度の会の運営や、役員改選など重要な会合になりますので、できるだけご出席いただきますようお願い申し上げます。

P.1 の佐藤さんのお話の中にもありましたが、マリーさんから、プレゼントとお手紙が送られてきました。療養中のマリーさんからの、心を打つお手紙をご紹介します。

今日、交流市民の会のみなさんが催されるイベントにあたり、一言みなさんに御挨拶と私の近況報告をさせていただきたいと思います。



2006 年 9 月は私にとって長い試練の始まりでした。たった 1 秒の不注意、車の中で聞いていた CD の気に入った曲のトラックナンバーを確認しようと、チラッと脇見をして…それっきり…意識を失いました。ヨハン・セバスチャン・バッハのせいにするわけにはいきませんが…気が付いた時、私は鹿の放牧場にいました。「えっ？何？私は奈良にいるの…??」

そして何週間もの入院生活…硬いプラスチックのコルセット、ヘルメットのようなものと顎あて…複数の骨折箇所が修復するように、絶対に動かないよう固定されていました。私の左目はひどくやられていましたが、送った写真をみてください。ちゃんと直って顔が変形したりしていませんから…

でも、どんな不運なことにもいい面もあります。こんな植物状態の生活の中で、私は今まで幸いにもご縁がなかった病院というところを発見しました。看護師さんや介護の方たちの奉仕と献身、親切と有能な仕事ぶり…私は大切にされ、ちやほやと甘やかしてもらい、彼女らと友情を育みました。人にお世話になることで謙遜を学び、また、悲惨な病気の末期にいる人たちから見れば自分のつらさは大したことではないと思って耐えることも学びました。読書と音楽は抑圧的なコルセット生活からのがれさせてくれ、ベッドに釘付け状態でも、精神の自由を謳歌することができました。

この試練の間、多くの人に助けていただいたことは忘れてはなりません。家族は常にそばにいてくれ、夫も子供たちも私の言うことを聞いてくれ、高齢の父も私の回復を信じて励ましてくれました。そして多くの友人たち、このような重大な状況にいるとき、確かな友情、普段は遠慮がちに隠れている控えめな友情などが見えてきます。

そして、日本の友人の皆さん、私を支えてくださってありがとうございます。皆さんの心のこもったお見舞いの寄せ書きも祥子が訳してくれました。

退院してきた私の家にすばらしい花のアレンジが届いたときは予想もしていなかったことに驚きました。この花はウェイエスの家に閉じこもってリハビリに励んでいた私にとって、遠い国の友人たちとの強いきずなの象徴でした。

あれから、私の生活は全体のリハビリエクササイズ、読書、音楽、子供たちや友人との時間などからなっています。とても元気ですが、決して以前のような生活には戻らないでしょう。

なつかしい皆さん、また、皆さんに会いに日本に行きたいものだと思います。私の心の中にはみなさんとの素晴らしい思い出がたくさん生きています。感動、大笑い、発見、秘密の打ち明け話、驚き、日本での思い出、フランスでの思い出・・・みなさんのためにまた、私の地方の、どこにもないようなステキな場所で私流のピクニックをプロデュースしますね！！

このたび西宮でみなさんが企画なさるロット・エ・ガロンヌウィークが開かれること、おめでとうございます。

みなさんがなさっていること、そしてみなさんの誠実な思いにブラボー！！

です。今年、西宮を代表して、西宮出身の画家、松谷さんの作品が 2007/2008 のシーズンの幕開けとして 6 週間に渡りアジアンで展示されます。

それから、いつも私たちの間を忠実に有能に友好的にとりもって、さまざまなことを企画してくれる祥子にも感謝します。ありがとう、祥子！・・・でも自分に関する部分は訳しにくいでしょ！（ちゃんと訳しましたよ！）みなさんに心からの想いをお伝えし、また再会できることを楽しみにしています。

「私たちに幸せをくれる人々に感謝しよう。

彼らは私たちの魂に花を咲かせる素晴らしい庭師である。」

マルセル・プルースト

マリー・フィトン



～ ～ ～ お知らせ ～ ～ ～

写真や映像で街並みなど
仏友好都市の魅力紹介
西宮で提携15周年記念

フランスのロット・エ・ガロンヌ県、アジアン市と西宮市の友好都市提携十五周年を記念する行事が二十一日、同市北口

町のアクタ西宮東館で開かれた。現地を訪ねた市民が、古い石造りの建物が残る街並みなどを紹介。かの地をモチーフにした絵画・写真展も開かれ、多くの人でにぎわった。

西宮ロット・エ・ガロンヌ交流市民の会（上田善弘会長）が主催。同会は絵画サークルやフランス語教室を運営し、語学留学生をホームステイで受け入れている。

この日は、県立芸術文化センターのオーケストラのメンバーらが、ドビュッシーの弦楽四重奏曲などを演奏。会員が現地で撮影した映像を披露し、その魅力を語った。

東館六階の北口ギャラリーでは、関連の絵画・写真展が二十日まで開かれている。午前十時～午後四時。同ギャラリー ☎0798・69・3160 (伊藤大介)

友好都市の魅力が写真などを通して紹介された＝西宮市北口町

「15周年記念イベント」の様子が、神戸新聞に掲載されました！（4月22日・朝刊）

事務局：〒662-0911 西宮市池田町 11-1 フレンテ西宮 4階 秘書国際課内

Tel:0798-35-3468

Fax:0798-32-8673

Home Page: <http://nleg.net>

E-mail: info@nleg.net